

CHAPTER 2 「社会価値」の創造

すべてのステークホルダーの安心と満足の追求

サステナビリティ中長期経営計画における「重要課題(マテリアリティ)」



マルハニチログループのバリューチェーンは、お客さまはもちろん、国内外のお取引先や従業員、そして地域社会によって支えられています。

マルハニチログループは、2018年3月に「サステナ

ビリティ中長期経営計画」を策定し、安全・安心な食の提供や人権の啓発、持続可能な調達など、すべてのステークホルダーの安全・安心、満足度の向上などをめざす「社会価値」の創造を目標としています。

お取引先への価値

- 持続可能な調達の実践

お客さまへの価値

- 安全・安心な食の提供
- 「消費者志向経営」の推進
- 「生涯健康計画」の推進

従業員への価値

- 成長機会の提供
- 安全で働きやすい職場づくりの推進
- ダイバーシティの推進と働き方改革の実施
- 健康経営の推進
- 人権の啓発推進

地域・社会への価値

- 地域社会との共存・共栄



CHAPTER 2 「社会価値」の創造

お客さまへの価値

安全・安心な食の提供

お客さまの「視点」に立ち、お客さまが求める「品質」を考え、お客さまに安全な「品質」をお届けし、お客さまに安心していただける「食」を追求しています。



CHAPTER 2 「社会価値」の創造

お客さまへの価値

「生涯健康計画」の推進

お客さまのライフステージに沿った健康維持を支援するために、健康に対する効果が実証された機能性素材を生かした商品や身体にやさしい商品を開発・提供していきます。

事業活動と「安全・安心な食の提供」

グループの品質保証体制を構築

水産・食品事業をコアとした総合食品企業のマルハニチログループは、グループ理念に「私たちは誠実を旨とし、本物・安心・健康な『食』の提供を通じて、人々の豊かなくらしとあわせに貢献します」と掲げており、安全・安心な食を提供することが、私たちの責務と考えています。

そうした考えのもと、「経営会議」を品質保証の最高意思決定機関とする体制を構築し、適切な品質保証活動を実施するための重要な方針や施策を決定しています。

また、経営会議の諮問機関として、マルハニチロの社長を委員長とする「品質委員会」を設置しているほか、マルハニチロの「品質保証部」は、各種規則・基準類の策定や品質監査・商品情報整備を通じた管理状況のモニタリングと改善支援、品質・表示に関する情報の収集・発信および教育・啓発など、グループ品質保証の要としての役割を担っています。

一方、社内各部門や各グループ会社には「品質責任者・品質担当者」を配置し、グループとしての品質保証に関する方針・施策などの情報を伝達し、各部門・各社における品質保証の計画や施策の立案・推進をはかっています。

サステナビリティ中期経営計画

グローバル規格の食品安全マネジメントシステムの認証を取得するとともにフードディフェンスを強化

「品質保証体制」については、グループ全体の品質マネジメントシステムを確立するため、グループ品質保証規程の浸透および適切な運用を目標に、品質PDCA活動をグループ全体で展開していきます。その一環として、2018年度に品質保証に関する文書体系を見直し、グループ各社の関係者を対象に説明会を開催しました。

「食品安全体制」については、グローバル規格の食品安全マネジメントシステムの認証取得を推進。2017年度はマルハニチロの4工場、マルハニチロ北日本の森工場、タイのN&N FoodsでFSSC22000認証を取得しました。今後はサプライチェーンとの連携や工場点検・指導の強化、品質衛生管理教育体制の充実化を計画しています。

「食品防御体制」については、フードディフェンス管理規則に基づく良好な職場環境の維持と防御レベルの向上を目標に、工場点検・指導の強化やフードディフェンス管理教育を継続しています。2017年度は、国内外のグループ生産拠点、および物流拠点において管理基準に基づく調査・改善を実施しました。

事業活動と「生涯健康計画の推進」

「カラダとココロの健康」に配慮した商品を開発・提供

「医食同源」と言われるように、「食」を通じた健康維持の考え方は、江戸時代の貝原益軒(1630~1714年)による「養生訓」のなかに健康管理に食生活が重要であると記されています。現代でも、厚生労働省や農林水産省が提唱している「食事バランスガイド」にあるように、主食、主菜、副菜を基本にバランスのとれた食事と適度な運動が健康増進や疾病予防のために重要です。

そこでマルハニチログループでは、お客さまのライフステージに沿った健康維持を支援するため、自然との調和を重視した水産物の提供やDHAをはじめとする健康に対する効果が実証された機能性素材を生かした商品、減塩惣菜や見た目にもこだわった介護食品など、「カラダとココロの健康」に配慮した商品を開発・提供する「生涯健康計画」を推進しています。

今後も、私たちは、生涯にわたってお客さまの健康維持をお手伝いすることをめざし、研究開発、技術開発、情報発信を進めていきます。

サステナビリティ中期経営計画

食の機能に関わる研究・開発に取り組みその成果を商品・情報として提供

「生涯健康計画」に沿った商品開発・提供・情報発信を進めていくことは、お客さまのライフステージに沿った健康維持を支援することにつながると考えています。

そこで「コミュニケーション活動の活発化」と「ヘルス&ウェルネスへの貢献」を中期目標に掲げ、食の機能に関わる研究・開発の進化や、その成果をお客さまに商品や情報として提供していくことを計画しています。

例えば、食育やプロモーション活動、魚食および魚由来の機能成分の研究開発の推進、さらには機能性表示食品、減塩やカルシウム強化、カロリーコントロールなどの食品を通じて、現代の健康課題を解決する「カラダの健康」や食べることでそれ自体も楽しんでいただける工夫など、「ココロの健康」に配慮する商品を提供していきます。

その方針に基づき、2017年度もDHAをはじめとする機能性素材の研究開発成果を生かした商品をはじめ、減塩惣菜や介護食品などを開発しました。

サステナビリティ中期経営計画

中期目標	主な行動計画	
品質保証体制	<ul style="list-style-type: none"> ● 品質マネジメントシステム「マルハニチログループ品質保証規程」の浸透と適切な運用 	<ul style="list-style-type: none"> ● 品質PDCA活動をグループ全体で展開「設計開発」「原材料調達」「人材育成」を重点テーマと位置付け継続的な改善をはかる
食品安全体制	<ul style="list-style-type: none"> ● グローバル規格の食品安全マネジメントシステムの認証取得推進と効果的な運用 	<ul style="list-style-type: none"> ● すべてのサプライチェーンとの連携を強化 ● 工場点検・指導の強化 ● 品質衛生管理教育体制の充実化
食品防御体制	<ul style="list-style-type: none"> ● 「マルハニチログループフードディフェンス管理規則」に基づく良好な職場環境の維持と防御レベルの向上 	<ul style="list-style-type: none"> ● 工場点検・指導の強化 ● フードディフェンス管理教育の継続

サステナビリティ中期経営計画

中期目標	主な行動計画	
商品開発・提供、情報発信を通じてお客さまのライフステージに沿った健康維持の支援	<ul style="list-style-type: none"> ● 「生涯健康計画」に基づくコミュニケーション活動の活発化、および研究・開発の強化 ● ヘルス&ウェルネスへの貢献 	<ul style="list-style-type: none"> ● プロモーション活動の推進 ● 魚食および魚由来の機能成分の研究・開発 ● 機能性表示食品、減塩やカルシウム強化、カロリーコントロールなどメタボ対策や骨強化などの「カラダの健康」への対応 ● 食べることでそれ自体も楽しんでいただけるなど、「ココロの健康」へも配慮する商品

お客さまへの価値 

「消費者志向経営」の推進

マルハニチログループの基本ミッションを果たすために、私たちは消費者庁が推進する「消費者志向経営」に賛同し、消費者志向自主宣言をしています。

事業活動と「消費者志向経営の推進」

「消費者志向自主宣言」を制定

マルハニチログループは、「社会から必要とされる、本物・安心・健康な食を提供し、人々の豊かな暮らしとあわせに貢献する企業グループ」であることを基本ミッションとしています。その基本ミッションを果たすべく、私たちは消費者庁が2016年から推進している「消費者志向経営」の活動に賛同するとともに、2018年3月に消費者志向自主宣言の制定と宣言内容に基づいた取り組み方針を公表いたしました。

消費者志向経営とは、以下の取り組みを指します。

- 消費者全体の視点に立ち、消費者の権利の確保および利益の向上をはかることを経営の中心と位置付ける
- 健全な市場の担い手として、消費者の安全や取引の公正性の確保、消費者に必要な情報の提供などを通じ、消費者の信頼を獲得する
- 持続可能で望ましい社会の構築に向けて、自らの社会的責任を自覚して事業活動に取り組む

これはまさに、私たちのグループ理念そのものであり、持続可能な社会づくりへの貢献をめざす中長期ビジョンにも結びつくものと考え、P.34に掲載している当社グループ・スローガン・ビジョン・取り組み方針を公表いたしました。

サステナビリティ中期経営計画

社内風土の醸成と部門間の有機的な連携をはかりお客さまとのコミュニケーションを強化

「消費者志向経営」を推進していくために、「消費者志向経営」の社内浸透と消費者とのコミュニケーションの一層の深化という目標を立てました。

1つ目の「消費者志向経営」の社内浸透の強化については、「消費者志向経営」に関する啓発研修の実施および推進体制の構築のほか、「お客さまの声」を生かした事業活動の強化を計画しています。2018年度には社内研修において「消費者志向経営」について説明する予定で、1,200名以上の従業員が受講する計画です。また、お客さま対応マニュアル内に消費者志向経営の説明を加え、全従業員に配布していきます。

2つ目の消費者とのコミュニケーションの一層の深化については、情報提供の充実と双方向の情報交換に加え、安全・安心への取り組み、環境活動との連携、「食育活動」との連携を計画しています。すでに、お客さまの声の活用はお客さま相談センターがマルハニチロホームページやグループ従業員向けイントラサイトで商品改善提案の取り組みを紹介しており、今後拡充させていく予定です。

サステナビリティ中期経営計画

中期目標	主な行動計画
「消費者志向経営」の社内浸透	<ul style="list-style-type: none"> ● 「消費者志向経営」に関する啓発研修の実施 ● 「消費者志向経営」を推進するための体制構築 ● 「お客さまの声」を生かす事業活動の強化
消費者とのコミュニケーションの一層の深化	<ul style="list-style-type: none"> ● お客さまに満足いただける対応サービスの強化 ● 安全・安心への取り組み強化 ● 持続可能な環境活動との連携 ● 消費者教育「食育活動」との連携

消費者志向自主宣言



理念

- 1. グループ理念** 私たちは誠実を旨とし、本物・安心・健康な『食』の提供を通じて、人々の豊かな暮らしとあわせに貢献します。
- 2. グループスローガン** 世界に美味しいあわせを
- 3. グループビジョン** マルハニチログループは、
 - 地球環境に配慮し、世界の『食』に貢献する21世紀のエクセレントカンパニーを目指します。
 - お客様の立場に立ち、お客様にご満足いただける価値創造企業を目指します。
 - 持続可能な『食』の資源調達力と技術開発力を高め、グローバルに成長を続ける企業を目指します。

取り組み方針

1. トップコミットメント

マルハニチログループの基本ミッションは、「社会から必要とされる、本物・安心・健康な食を提供し、人々の豊かな暮らしとあわせに貢献する企業グループ」であることです。

この基本ミッションを果たすため、そして社会から評価され必要とされる企業になるため、企業として何のために社会に存在するのか、何を以って社会に貢献していくのかといったことを常に念頭におき、グループの変革と改革を進め、長期的な発展の基盤を築いてまいります。

📄 トップメッセージ

<https://www.maruha-nichiro.co.jp/corporate/outline/philosophy/>

2. コーポレート・ガバナンスの確保

マルハニチログループは、さまざまなステークホルダーと公正で良好な関係を構築し、持続的な成長と長期的な視野に立った企業価値の向上をめざします。そのため、意思決定の迅速化をはかるとともに、チェック機能の強化をはかることで、経営の健全性、透明性、効率性を確保することを重要な課題と位置づけ、コーポレート・ガバナンスの強化に取り組めます。

📄 コーポレートガバナンス

<https://www.maruha-nichiro.co.jp/corporate/management/governance/>

3. お客さま対応部門と他部門の有機的連携

— お客さまの声の活用

マルハニチログループでは、お客さまとのコミュニケーションを大切に、さまざまなご指摘、ご意見に対して、迅速かつ丁寧に対応するよう努めています。また、お客さまから頂戴したご指摘・ご意見・お問合せを「お客さまの声」としてまとめ、日々経営層をはじめ関係者と共有

し、商品やサービスの改良・改善など、多くの事業活動に活用させていただいています。

📄 お客さまとのコミュニケーション

<https://www.maruha-nichiro.co.jp/corporate/safe/structure/>

📄 お客さまの声により生まれ変わった商品

<https://www.maruha-nichiro.co.jp/inquiry/improvements.html>

— 安全・安心への取り組み

マルハニチログループでは、お客さまに安全な商品をお届けするために、お客さまの視点に立って、お客さまが求める「品質」を考え、お客さまに安全な「品質」をお届けし、お客さまに安心していただける「食」を追求していきます。

📄 安全安心

<https://www.maruha-nichiro.co.jp/corporate/safe/>

4. お客さまへの情報提供の充実・双方向の情報交換

マルハニチログループでは、お客さまに対して適切な商品情報を提供するため、Webサイトで商品情報(栄養成分、生産工場または生産国、アレルギー情報、主な原材料の産地など)を公開しています。また、お客さま自らが疑問を解決できるように「商品Q&A」をキーワードやカテゴリー、目的別で検索できるように、動画なども活用しながら判りやすくご紹介しています。

また、多くの方々に魚食の楽しさ、おいしさを知っていただき、健康な食生活に役立てていただくことを目的に「マグロ授業」や「料理教室」、「魚食普及イベント」などの食育活動を通じて、お客さまとの双方向のコミュニケーションの推進に取り組んでいます。

📄 マルハニチロホームページ

<https://www.maruha-nichiro.co.jp/home.html>

お取引先への価値 

持続可能な調達の実践

マルハニチログループは、「グループ行動指針」に基づく「調達基本方針」を制定し、お取引先各社にご理解・ご賛同をお願いしています。

事業活動と「持続可能な調達の実践」

調達先の広域化や複雑化を背景に

私たちが将来にわたって持続可能かつ安定した経営を実践していくためには、サプライチェーンにおける環境問題、人権や労働安全といった社会的側面に配慮したリスクマネジメントを実施していくことが必要です。

そこで、マルハニチログループでは2017年度に「グループ行動指針」および国連グローバル・コンパクト10原則や国際規格ISO26000の考え方に基づき「調達基本方針」「サプライヤーガイドライン」を制定しました。また、海外市場における公正な競争の実施と腐敗防止に関する「腐敗防止宣言」をコミットしました。

サステナビリティ中期経営計画

サプライチェーンマネジメントを強化・浸透

マルハニチログループは、サプライチェーンをカバーするさまざまな事業を有しており、これらの事業活動における原料、資材、製品などの調達先の選定は、各事業部門が責任をもって実施しています。そのため、マルハニチログループにおけるサプライチェーンマネジメントは、原則として調達部署が「調達基本方針」に基づき、調達リスクの評価に応じて「サプライヤーガイドライン」の運用とモニタリングを実施することとしています。

調達基本方針

マルハニチログループは、お取引先さまとともに「グループ行動指針」に基づいた調達活動を通じて社会的責任を果たし、社会の持続可能な発展に貢献してまいります。

- **組織統治**
各国の法令と倫理・社会規範を遵守し、適切な輸出入管理を行うとともに、積極的なステークホルダーへの情報開示を行う。また、国内外における反社会的勢力との関係排除を徹底する。
- **人権**
基本的な人権を尊重し、強制労働、児童労働、ハラスメント、および雇用と職業に関する差別を撤廃するとともに、あらゆる人権侵害に加担しない。
- **労働慣行**
従業員の安全と健康を維持する労働環境を整備し、職場における人材育成、および訓練の機会を提供する。また、労働者の権利である団結権を尊重し、法定最低賃金の遵守、不当な減額の禁止、および法定労働時間の遵守を徹底する。

- **環境への配慮**
海洋資源を含むあらゆる資源の持続可能な利用とともに、地球温暖化の防止、循環型社会の構築に取り組む。また、環境負荷の低減、森林減少の阻止など、地球環境の保全に努める。
- **公正な事業慣行**
公正かつ透明な取引の実施と腐敗防止の徹底、および知的財産権、ノウハウなどの秘密情報の適切な管理を行う。
- **消費者課題**
商品の品質維持とその保証、安全性を確保する。また、個人情報の適切な管理を行い、お客さまのニーズを的確に捉え、ご満足いただくために適切な情報を開示する。
- **コミュニティへの参画**
国内外を問わず地域社会の一員としての役割を果たし、社会の成長と発展に貢献する。

サステナビリティ中期経営計画

中期目標	主な行動計画
CSRに配慮したサプライチェーンの構築	<ul style="list-style-type: none"> ● 「調達基本方針」「サプライヤーガイドライン」「腐敗防止宣言」に基づくCSRに配慮したサプライチェーンマネジメントの実践 ● 「調達基本方針」「サプライヤーガイドライン」「腐敗防止宣言」のサプライヤーへの周知徹底 ● サプライヤーへのモニタリングの実施



IN FOCUS

キングフィッシャー主導によるサプライヤーとの労働環境改善推進活動の様子

CSRに配慮したサプライチェーン管理

近年、欧米を起点に「CSRに配慮したサプライチェーン」を要求する動きが世界的に起きており、水産加工業が発展しているタイでもその対応が求められています。タイで冷凍食品とレトルト食品を製造・販売しているキングフィッシャー社は、サプライチェーン管理を一層強化するとともに、その透明化・可視化に注力しています。

タイでは、水産加工業が発展する一方で、サプライチェーンにおける人権侵害やIUU(違法、無報告、無規制)漁業などが問題となっていました。そこでキングフィッシャー社は、サステナビリティを軸にした経営に舵を切り、サプライチェーン管理のさらなる徹底と透明化・可視化に取り組んでいます。

例えば、2014年には、タイ初の「IFFO GMP+CoC認証※1」を取得しました。これは非認証の水産物の混入を防ぐために製品がたどってきた経路を遡ることができるようトレーサビリティを確保していることを証明するものです。また、2016年には、水産原料の一次加工処理を内製化することで労務管理を含めたより一層のサプライチェーン管理に努めています。

さらにサプライヤー管理を徹底するため、2016年に「Responsible sourcing policy」を制定するとともに、従来は自社内で運用してきた「supplier code of practice※2」を改訂し、この規定を遵守していただける企業のみとの取引を継続しています。また、この規定が守

られているかをチェックするため、定期的にサステナビリティ監査を実施しています。

加えて、2016年から水産物加工業者や欧米の小売業者、タイ政府などが参加する「Seafood Task Force」の創立メンバーとして参画。現在も、タイ全体のサプライチェーンの課題解決をリードしています。

2018年にはキングフィッシャー社のWebサイトを一新し、サプライチェーン管理について報告するとともに、継続的な情報開示に努めています。

※1 International Fishmeal and Fish Oil Organisation Good Manufacturing Practices Chain of Custody
 ※2 「人権の尊重」「健康と安全への配慮」「環境への配慮」「事業の透明性」これら4項目を守った上での細かい規定」を定めたもの。



キングフィッシャー社のWebサイト



SEAFOOD TASK FORCEのロゴマーク



CHAPTER 2 「社会価値」の創造

従業員への価値 

成長機会の提供

マルハニチログループは、「何よりも人材育成が第一」という企業文化の醸成をめざして、主体性を発揮して成長してもらう環境をつくっています。



CHAPTER 2 「社会価値」の創造

従業員への価値 

安全で働きやすい職場づくりの推進

安全で、働きやすい職場をつくりだすことで生産性の向上や従業員の意識向上につながると考え、積極的に労働安全衛生活動に取り組んでいます。

事業活動と「成長機会の提供」

特定のスキルを有する人材やグローバル市場で活躍する人材を育成

近年、先進国を中心に少子高齢化が進み、日本では早々に生産年齢人口が大きく減少する見通しです。また、マルハニチログループでも生産工場における熟練社員の引退による後継者不足が課題となっています。そこで、企業存続のために「成長機会の提供」を重点課題と位置づけ、特定のスキルを有する人材やグローバル市場で活躍する人材、将来の経営を担う人材の育成に取り組んでいます。

特定スキルの人材育成については、従業員一人ひとりの能力を高め、補完的なキャリア開発を支援する教育制度を整備しています。階層別研修では、キャリアの節目となる従業員が受講し、役割・責任に応じて必要な知識を習得します。

また、グローバル人材の計画的な確保・育成に継続的に取り組んでおり、海外でのビジネスに強い興味・意欲があり、かつ海外赴任が可能なマルハニチロの総合職社員を対象に、「グローバル人材育成プログラム」を実施しています。



海外グループ会社での海外トレーニー研修

サステナビリティ中期経営計画

従業員に対する3つの行動計画を立案

サステナビリティ中期経営計画では、従業員に対する「成長機会の提供」を目標に、3つの行動計画を立てました。

「次世代経営人材育成プログラムの始動」については、経営者育成のためのプログラムを設けるため、現在、明確な人材育成方針の発信と研修体制の見直しに取り組んでいます。

「グローバル人材育成の加速」については、語学力のみならず、「幅広い見識とバランス感覚」「異文化適応力」「マネジメント力」「リーダーシップ力」「ネゴシエーション力」「プレゼンテーション力」「メンタル力」「人事労務知識」「財務経理知識」「地域専門知識」といった基準を満たす総合職社員を「グローバル人材」と位置付け、教育訓練を継続的に実施しています。2017年度は104名が参加しました。また、「グローバル人材」のなかから数名を1～2年間海外グループ会社に派遣する「海外トレーニー制度」を2014年から実施しています。

「人材育成スキームのリニューアル」については、全社的な視点に立った従業員一人ひとりのキャリア開発を促進するため、若手を対象に管理職になるまでに複数の職種・部署を経験させ、キャリアの硬直化を防いでいきます。また、管理職層についても、長年にわたって異動がない場合は、積極的にローテーションを実施していきます。

事業活動と「安全で働きやすい職場づくりの推進」

従業員の安全・安心や満足度の向上のために

マルハニチログループは、グループ行動指針のなかで「風通しの良い健全な職場づくりを心がけ、安全で健全な職場風土の醸成と差別のない環境を整えること」を約束しています。サステナビリティ中長期経営計画では、従業員の安全・安心や満足度向上に向けた目標を掲げました。

長時間労働やハラスメントは従業員の生命に関わる問題に発展する恐れがあるため、「安全で働きやすい職場づくりの推進」を重点課題に取り入れ、管理職向けセミナーの開催や労務担当者会議を継続的に実施しています。また、時間外労働の削減と従業員の健康維持・増進を推進するために、全社的な産業保健活動の強化に取り組んでいます。

2017年度 労働災害の発生状況

度数率 2.53 強度率 0.03

計算式
度数率=労働災害による死傷者数/延労働時間数×1,000,000
強度率=労働損失日数/延労働時間数×1,000

サステナビリティ中期経営計画

長時間労働、ハラスメントの防止

サステナビリティ中期経営計画では、中期目標として「安全で長時間労働やハラスメントのない職場環境の維持・促進」を掲げています。

「長時間労働の防止」に向けては就業規則や労働協約などの定めに基づいた労働安全衛生に関する委員会を事業所ごとに設置し、時間外労働の実態確認や職場の問題点を確認し、対策を講じています。また、「ノー残業デーの設置」「フレックスタイム勤務制度の導入」を推進し、長時間労働の防止だけでなく、業務効率の向上にもつなげています。

「ハラスメントの防止」については、被害者が心身の経済的ダメージを受けることのみならず、職場環境の悪化も懸念されます。従ってハラスメントを起こさせないよう、現在実施している管理職向けセミナーに加えて、各種啓発活動を実施しているほか、内部通報制度、ハラスメント相談窓口を設置しています。

今後も継続してあらゆる場面を通じ、職場環境の把握に努め、「安全で働きやすい職場づくり」に関する施策を立案・実行します。

サステナビリティ中期経営計画

中期目標	主な行動計画
成長機会の提供	<ul style="list-style-type: none"> ● 次期リーダー育成 ● グローバル人材育成 ● キャリア開発支援
	<ul style="list-style-type: none"> ● 次世代経営人材育成プログラムの始動 ● グローバル人材育成の加速 ● 人材育成スキームのリニューアル

サステナビリティ中期経営計画

中期目標	主な行動計画
安全で働きやすい職場づくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> ● 安全で長時間労働やハラスメントのない職場環境の維持・促進
	<ul style="list-style-type: none"> ● 管理職向けセミナーの開催 ● 時間外労働の削減

従業員への価値 

ダイバーシティの推進と働き方改革の実施

2017年に「ダイバーシティ推進室」を設置するとともに、2018年には「ダイバーシティ&インクルージョン行動宣言」を公表するなど、私たちは、ダイバーシティを重要な経営課題と考えています。



従業員への価値 

健康経営の推進

「世界においしいしあわせを」を実現するため従業員が健康に働ける環境を整備し、従業員の身体と心の健康をサポートしています。

事業活動と「ダイバーシティの推進と働き方改革の実施」

「ダイバーシティ推進室」を設置するとともに「ダイバーシティ&インクルージョン行動宣言」を公表

企業が持続的に成長を遂げるためには、ダイバーシティ&インクルージョンの推進は不可欠です。背景には「少子高齢化による労働力人口の減少」「顧客の多様化による価値観の変化」、さらには「グローバル化への対応」が求められているためです。

そこで、マルハニチログループは重要な経営課題としてダイバーシティ&インクルージョンを推進する必要があると認識し、2017年に「ダイバーシティ推進室」を設置、2018年3月には「マルハニチログループ ダイバーシティ&インクルージョン行動宣言*」を公表しました。この宣言を実現するために、従来の働き方を変えるとともに、価値創造やイノベーションを創出する人材の継続的な確保・労働生産性の向上に取り組んでいます。

また、マルハニチロは女性活躍推進法に基づく優良企業「えるぼし(2段階目)」の認定を2017年に取得しました。

ダイバーシティ&インクルージョン行動宣言

マルハニチログループは、価値創造を通じて、成長し続ける企業グループであるために社会の多様性を尊重する企業文化を作ること、誰もが自らの強みを存分に発揮し、その能力を最大限に活かすことができる職場環境づくりに取り組んでいます。

サステナビリティ中期経営計画

「風土改革」「女性活躍」「働き方改革」の推進をめざして

サステナビリティ中期経営計画では、「風土改革の推進」「女性活躍の推進」「働き方改革の推進」の3つの中期目標を立てました。

「風土改革の推進」については、2018年度に「マルハニチログループ ダイバーシティ&インクルージョン行動宣言」を策定し、グループ従業員向けのイントラサイトに「ダイバーシティサイト」を新設しました。同サイトを通じてトップの考え方やダイバーシティに関する情報を従業員に共有していきます。

「女性活躍の推進」については、食品製造業界平均を下回る女性管理職比率を向上させることがマルハニチログループの課題だと認識し、管理職候補となる人材の育成をすすめ、将来的な管理職としての活躍をめざし取り組んでいます。また、ダイバーシティマネジメント研修を実施し、女性社員に対するアンコンシャス・バイアス(無意識の偏見)の撲滅に取り組んでおります。「働き方改革の推進」については、時間制約のある従業員など、柔軟な働き方を支える制度や環境を整えていきます。また、従業員の安全配慮義務を果たすことを目的に、所定外労働時間の削減に取り組み、業務効率化に向けた働き方を推進していきます。

2017年度実績

女性管理職比率 **4.4%** 障がい者雇用率 **1.9%**

サステナビリティ中期経営計画

中期目標	主な行動計画	
風土改革の推進	<ul style="list-style-type: none"> ●ダイバーシティ経営、働き方改革に対する意識の向上 	<ul style="list-style-type: none"> ●経営陣からの情報・メッセージ発信 ●社員間の横のつながりの強化
女性活躍の推進	<ul style="list-style-type: none"> ●女性管理職比率の改善 ●子育て支援の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ●認定マーク「くるみん」「えるぼし」の取得 ●フォーラムの開催
働き方改革の推進	<ul style="list-style-type: none"> ●業務効率の改善 ●ワークライフバランスの改善 ●多様な働き方の受容 	<ul style="list-style-type: none"> ●IT化の推進 ●新しい人事制度の創出 ●在宅勤務などの定着

事業活動と「健康経営の推進」

「企業は何よりも人にある」を社訓に

近年、生産年齢人口の減少による人手不足問題や国民医療費の増大による国の施策の積極化、さらには投資家の企業価値の評価基準の変化などから、従業員の健康に対する取り組みを「コストではなく、企業成長のための投資」と考える「健康経営」に対する注目度が高まっています。

当社の社訓にも「企業は何よりも人にある」とあり、従業員の健康維持なくして企業は成り立たないとの考えから、2018年3月に「健康経営宣言」を発表しました。この宣言のもと、マルハニチロ健康管理室では産業医と保健師が中心となり、生活習慣病の発症と重症化の予防対策に積極的に取り組んでいます。

なお、経済産業省が主催する「健康経営優良法人認定制度」において、とくに優良な健康経営を実践している企業として当社は2018年2月20日に経済産業大臣より「健康経営優良法人(大規模法人部門)~ホワイト500~」に認定されました。



サステナビリティ中期経営計画

中期目標	主な行動計画	
健康経営の推進	<ul style="list-style-type: none"> ●従業員の健康増進 ●健康経営銘柄の取得 	<ul style="list-style-type: none"> ●健康診断事後措置の強化 ●メンタルヘルス対策の強化 ●健康増進・がん予防セミナーの開催など

人権の啓発推進

一人ひとりが人権について考え、理解を深め、あらゆる人々の基本的人権を尊重した活動に取り組んでいくことをめざしています。



地域社会との共存・共栄

地域社会との良好な関係を築いていくためにさまざまな社会貢献活動を通じて地域社会との共存共栄をめざしています。

事業活動と「人権の啓発推進」

「国連グローバル・コンパクト」に加盟

企業が持続可能なサプライチェーンを構築するためには、人権保護と適正な労働慣行を実践することが不可欠です。マルハニチログループでは、国内外のあらゆる事業活動において、人権、労働、環境、腐敗防止の本質的な価値観を10原則に取りまとめ、賛同を呼びかける「国連グローバル・コンパクト」に加盟。同時に、「グループ行動指針」のなかで「労働・人権」に関わる項目として「人権尊重と強制労働・児童労働の禁止」を掲げています。また、従業員に対してはグループ行動指針解説版で人権の考え方を明記しているほか、毎年グループ役員を対象とした人権啓発研修会を実施しています。

また、さまざまな人権問題に対する正しい理解と認識を深め、差別を許さない人権尊重の企業風土を構築するために、



社内に「人権啓発推進委員会」を設置し、グループ会社を含む役員の人権教育・啓発に取り組んでいます。

2017年度における人権啓発研修

対象者	管理職(マルハニチロ・一部グループ会社)
開催数	16回
受講者	441名

サステナビリティ中期経営計画

人権啓発を積極的に推進

サステナビリティ中期経営計画では、「人権問題への正しい理解・認識に基づく差別を許さない人権尊重の企業風土づくり」を進めることを目標に、行動計画として「人権啓発推進活動」と「社内人権啓発研修の開催」を立てています。

「人権啓発推進活動」にあたっては、東京人権啓発企業連絡会と大阪同和人権問題企業連絡会に加盟し、積極的な啓発活動に取り組んでいます。

また、「社内人権啓発研修」では、2017年度以降、主に管理職を対象に「性的少数者(LGBT)とセクシャルハラスメント」をテーマとした研修を開催しています。これは、LGBTに関する正しい理解と認識を深め、差別やハラスメントを許さない人権尊重の企業風土を構築することを目的としています。

人権に対する考え方

- **基本的人権の尊重**
私たちを取り巻くあらゆる人々の基本的人権を尊重し配慮した活動を行わなければいけません。
- **ハラスメントの禁止**
自分の地位や立場の優位性を利用して、本来の業務の範疇を超えて継続的に人格と尊厳を侵害する言動や、暴力や罵声を浴びせるなど人格を否定する行為は許されません。
- **不法労働者雇用の禁止**
外国人雇用にあたっては、不法労働でないことを確認の上、労務管理をしっかりと行わなければなりません。
- **取引先の状況確認**
取引を行うにあたっては、その会社が強制労働・児童労働などの不法労働を行っていないかどうか確認しなければなりません。

サステナビリティ中期経営計画

中期目標	主な行動計画
人権の啓発推進	<ul style="list-style-type: none"> ● 人権問題への正しい理解・認識に基づく差別を許さない人権尊重の企業風土づくり ● 人権啓発推進活動 ● 社内人権啓発研修の開催

事業活動と「地域社会との共存・共栄」

地域社会を尊重する 社会貢献活動の取り組み

企業が持続的に成長していくには、事業を展開する地域社会の人々との対話を重ねながら、良好な関係を築いていくことが必要不可欠です。マルハニチログループは、事業を通じた社会貢献活動を実施し、地域社会との共存・共栄をめざしています。「食育活動」としては2012年から「マグロ授業&料理教室」を豊洲本社にて継続して開催し、マグロ一匹まるごとの解体や調理実習を通じて魚の生態や美味しさをお伝えしています。また2017年で3年目となる、「シェフ直伝 ～身近な魚を使った休日ランチ～」を4回(大阪2回、東京1回、名古屋1回)実施しました。「環境活動」としては、東京湾の環境改善に取り組む「東京湾UMIプロジェクト」の協力企業(2016年認定)として、アマモ場再生活動への参加や高校生アマモサミットへの協賛をしています。「地域貢献活動」として、1953年からマルハニチロ俊武多会として出陣している「青森ねぶた祭」、また2012年より、地球や自然、モノやお金の大切さを学ぶ「MOTTAINAIキッズフェスティバル」への協賛・参加を行っています。

サステナビリティ中期経営計画

3つの課題を軸に地域社会の発展に貢献

サステナビリティ中期経営計画では、マルハニチログループ社会貢献方針に準じて「食育活動」「環境活動」「地域貢献活動」に関する3つの目標とそれぞれの計画を立てました。「食育活動」については、さまざまなイベントを通してライフステージに寄り添った「食」の提案を行うとともに、持続可能な漁業・養殖認証取得の水産物を使った料理教室の企画を予定しています。「環境活動」については、継続して行っているアマモ場再生活動をさらに発展・推進させるとともに、各事業所における地域の環境保全活動への参加も推進していきます。「地域貢献活動」については、各地域で行われるイベントへの参加・協賛を通じて、地域社会の発展に貢献していきます。



サステナビリティ中期経営計画

中期目標	主な行動計画
食育活動	<ul style="list-style-type: none"> ● 食の大切さを伝え、健康に貢献 ● ライフステージに寄り添いながら、健やかな暮らしを支える「食」の提案 ● 持続可能な水産資源を使った料理教室の開催
環境活動	<ul style="list-style-type: none"> ● 未来につなげる自然環境の保全 ● 事業場所在地における地域社会の環境保全活動への参加 ● 持続可能な環境資源の普及
地域貢献活動	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域社会の発展への貢献 ● 地域文化継承への協力 ● 地域社会とのコミュニケーション ● モノづくりの価値を伝える機会の創出